

注3

大学番号：国064

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の設置

注1

意見伺い

岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学
令和元年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ……」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院ヘルスシステム統合科学研究科

＜ヘルスシステム統合科学専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	32

＜ヘルスシステム統合科学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	35
2. 授業科目の概要	39
3. 施設・設備の整備状況、経費	45
4. 既設大学等の状況	46
5. 教員組織の状況	50
6. 附帯事項等に対する履行状況等	59
7. その他全般的事項	61

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

(2) 大学名

岡山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

〒700-8558

岡山県岡山市北区鹿田町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マキノ ヒロフミ) 榎野博史 (平成29年4月1日)		
理事	(タカハシ カヨ) 高橋香代 (平成29年4月1日)		
研究科長	(セノオ マサハル) 妹尾昌治 (平成30年4月1日)		
専攻長			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻 （博士前期課程） 修士（統合科学）	学際領域	2年	80人	160人	基礎となる学部 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	平成30年度	令和元年度	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80人 () []	80人 () []	80人 () []	0人 () []	0.99倍	-	
志願者数	102人 () [9]	0人 () []	84人 () [5]	0人 () []			
受験者数	101人 () [9]	0人 () []	82人 () [5]	0人 () []			
合格者数	90人 () [8]	0人 () []	78人 () [5]	0人 () []			
B 入学者数	85人 () [8]	0人 () []	75人 () [5]	0人 () []			
入学定員超過率 B/A	1.06		0.93				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ

記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	85 [8] (-)	0 [-] (-)	75 [5] (-)	[-] (-)	
2年次	/		85 [8] (-)	[-] (-)	
計	85 [8] (-)		160 [13] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	85 人	0 人	平成30年度	人	人	
令和元年度	160 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{160} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士前期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合科学目	ヘルスシステム統合科学特別研究	1～2通	10			20	10	3	3			
	ヘルスシステム統合科学特別課題研究	1～2通	10			20	10	3	3			
	医療政策	1前②	1									3
	医学研究概論	1前①	1									1
	ケアの比較文化論	1後③	1									1
	バイオ・創薬科学概論	1-2前①	1			6	2					
	医療機器材料科学概論	1-2前①	1			5	2	1				
	ヒューマンイノベーション/ヘルスケア科学概論	1-2前①	1			9	3	1				
	ヘルスシステム統合科学演習	1後③	1			8	1	2				
	実践ヘルスシステム統合科学	1後④	1			8	1	2				
	ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ	1前①	1			4	1	1				
	ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ	1前②	1			3	1	1				1
	倫理総論	1前②	1			2		1				
	技術表現発表学	1後③	1			19						1
	ヘルスシステム統合科学専門英語	1後④	1			19		2	1			
	医療管理	1後③	1									1
	先進病院実習	1前②	1			2						1
	ヘルスシステム統合科学インターンシップ	1通	2			4	1	1				
	ビッグデータ構築・解析学	1-2後④	1			2						
	ビッグデータ学	1-2後③	1			4	1	1				
	安全インタフェースシステム学	1-2前①	1			1						
	医療ビジネスマネジメント概論	1前②	1									1
	老いと看取りと死の文化論	1-2後④	1									4
	死生観の宗教社会学	1-2前②	1									1
	ケア学	1-2前①	1			1						1
	ケア学演習	1-2前①	1			1						7
小計(26科目)	-	33	12	0	20	11	4	4	0	21		
専門科目	人工生体機能分子設計学	1-2後③	1			1			1			
	分子酵素学	1-2後③	1				1					
	分子生理学	1-2前②	1			1						
	遺伝子機能制御工学	1-2前①	1						1			
	細胞内シグナル伝達科学	1-2前②	1			1				1		
	細胞機能工学	1-2前②	1				1			1		
	生体材料設計学	1-2前②	2			1						
	生体材料科学	1-2後④	1				1			1		
	RNA工学	1-2前②	1			1						
	蛋白質分子工学	1-2前②	1				1			1		
	ナノバイオ分子設計学	1-2前②	1			1					1	
	分子細胞生物学	1-2前①	1				1				1	
	オルガネラシステム工学	1-2前①	1				1				1	
	組織工学概論	1-2後④	1									2
	音声情報処理特論Ⅰ	1-2前①	1			1						
	音声情報処理特論Ⅱ	1-2前②	1			1						
	情報学習理論	1-2後③	1					1				
ネットワークアーキテクチャⅠ	1-2前①	1			1						1	
ネットワークアーキテクチャⅡ	1-2前②	1			1						1	
センシング工学特論	1-2前①	1			1						1	
光計測工学特論	1-2前①	1				1					1	
知能工学特論	1-2後③	1					1				1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合科学目	ヘルスシステム統合科学特別研究	1～2通	10			20	10	3	3			
	ヘルスシステム統合科学特別課題研究	1～2通	10			20	10	3	3			
	医療政策	1前②	1									3
	医学研究概論	1前①	1									1
	ケアの比較文化論	1後③	1									1
	バイオ・創薬科学概論	1-2前①	1			6	2					
	医療機器材料科学概論	1-2前①	1			5	2	1				
	ヒューマンイノベーション/ヘルスケア科学概論	1-2前①	1			9	3	1				
	ヘルスシステム統合科学演習	1後③	1			8	1	2			4	
	実践ヘルスシステム統合科学	1後④	1			8	1	2				
	ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ	1前①	1			4	1	1				
	ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ	1前②	1			3	1	1				1
	倫理総論	1前②	1			2		1				
	技術表現発表学	1後③	1			19						1
	ヘルスシステム統合科学専門英語	1後④	1			19		2	1			
	医療管理	1後③	1									1
	先進病院実習	1前②	1			2						2
	ヘルスシステム統合科学インターンシップ	1通	2			4	1	1				
	ビッグデータ構築・解析学	1-2後④	1			2						
	ビッグデータ学	1-2後③	1			4	1	1				
	安全インタフェースシステム学	1-2前①	1			1						
	医療ビジネスマネジメント概論	1前②	1									1
	老いと看取りと死の文化論	1-2後④	1									4
	死生観の宗教社会学	1-2前②	1									1
	ケア学	1-2前①	1			1						1
	ケア学演習	1-2前①	1			1						7
小計(26科目)	-	33	12	0	20	11	4	4	0	22		
専門科目	人工生体機能分子設計学	1-2後③	1			1			1			
	分子酵素学	1-2後③	1				1					
	分子生理学	1-2前②	1			1						
	遺伝子機能制御工学	1-2前①	1						1			
	細胞内シグナル伝達科学	1-2前②	1			1				1		
	細胞機能工学	1-2前②	1				1			1		
	生体材料設計学	1-2前②	2			1						
	生体材料科学	1-2後④	1				1			1		
	RNA工学	1-2前②	1			1						
	蛋白質分子工学	1-2前②	1				1			1		
	ナノバイオ分子設計学	1-2前②	1			1					1	
	分子細胞生物学	1-2前①	1				1				1	
	オルガネラシステム工学	1-2前①	1				1				1	
	組織工学概論	1-2後④	1									2
	音声情報処理特論Ⅰ	1-2前①	1			1						
	音声情報処理特論Ⅱ	1-2前②	1			1						
	情報学習理論	1-2後③	1					1				
ネットワークアーキテクチャⅠ	1-2前①	1			1						1	
ネットワークアーキテクチャⅡ	1-2前②	1			1						1	
センシング工学特論	1-2前①	1			1						1	
光計測工学特論	1-2前①	1				1					1	
知能工学特論	1-2後③	1					1				1	

医用ロボット学特論	1-2前②	1				1					
認知神経科学	1-2後③	2	1								
生体信号処理特論	1-2前①	2		1							
ヘルスプロモーション科学	1-2前②	2	1	1					7		
先端医療疾病管理論	1-2前①	1	1						8		
社会医療疾病管理論	1-2前②	1	1						6		
ヘルスシステム統合科学応用学実習	1-2後③④	1	1						2		
実践基礎看護学特論	1-2前②	1	1								
生命健康情報工学特論I	1-2前①	1		1							
生命健康情報工学特論II	1-2前②	1		1							
生命健康情報工学演習	1-2後③④	1		1							
生体情報解析学特論	1-2前②	2	1								
生体情報解析学演習	1-2後③④	1	1								
医療対話学	1-2後③④	2	2						2		
機能修復医学特論	1-2前①	1		1							
臨床科学概論	1-2前②	1	1								
疫学入門	1-2前①②	1							2		
医療システムデザイン学	1-2後④	1							2		
ヒューマン共生思想哲学	1-2前②	1	1								
ヒューマンライフ価値論	1-2後③	1	1								
東アジア老年思想文化論	1-2前②	1	1								
日本思想史・死生観特論	1-2後④	1	1								
科学技術史・技術論	1-2後③	1	1								
高齢社会科学技術論	1-2前②	1	1								
臨床死生学 I	1-2前①	1				1					
臨床死生学 II	1-2後③	1				1					
医療福祉制度比較論	1-2後③	1								1	
ソーシャルイノベーション論	1-2前②	1				1					
医療関係法1(医療機関法)	1-2前②	1	1								
医療関係法2(医療行為法)	1-2後③	1	1								
介護福祉と法	1-2後③	1								1	
医療経営法務	1-2後③	1								1	
医事・薬事法概論	1前②	1	1								
医療リスクマネジメント概論	1-2前②	1									1
小計(56科目)	-	0	62	0	18	10	4	3	0	30	
合計(82科目)	-	33	74	0	20	11	4	4	0	50	

卒業要件及び履修方法

修了要件は、博士前期課程に2年以上在学し、34単位以上(共通科目については、必修科目23単位、選択科目3単位以上、専門科目については、8単位以上)を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。

博士前期・後期課程一貫コースについては、博士前期課程に2年以上在学し、34単位以上(共通科目については、必修科目23単位、選択科目3単位以上、専門科目については、8単位以上)を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。

医用ロボット学特論	1-2前②	1				1					
認知神経科学	1-2後③	2	1						1		
生体信号処理特論	1-2前①	2							1		
ヘルスプロモーション科学	1-2前②	2	1	1						7	
先端医療疾病管理論	1-2前①	1	1							7	
社会医療疾病管理論	1-2前②	1	1							5	
ヘルスシステム統合科学応用学実習	1-2後③④	1	1							1	
実践基礎看護学特論	1-2前②	1	1								
生命健康情報工学特論I	1-2前①	1		1					1		
生命健康情報工学特論II	1-2前②	1		1					1		
生命健康情報工学演習	1-2後③④	1		1					1		
生体情報解析学特論	1-2前②	2	1								
生体情報解析学演習	1-2後③④	1	1								
医療対話学	1-2後③④	2	2							2	
機能修復医学特論	1-2前①	1		1					1		
臨床科学概論	1-2前②	1	1								
疫学入門	1-2前①②	1								2	
医療システムデザイン学	1-2後④	1								2	
ヒューマン共生思想哲学	1-2前②	1	1								
ヒューマンライフ価値論	1-2後③	1	1								
東アジア老年思想文化論	1-2前②	1	1								
日本思想史・死生観特論	1-2後④	1	1								
科学技術史・技術論	1-2後③	1	1								
高齢社会科学技術論	1-2前②	1	1								
臨床死生学 I	1-2前①	1							1		
臨床死生学 II	1-2後③	1							1		
医療福祉制度比較論	1-2後③	1								1	
ソーシャルイノベーション論	1-2前②	1							1		
医療関係法1(医療機関法)	1-2前②	1	1								
医療関係法2(医療行為法)	1-2後③	1	1								
介護福祉と法	1-2後③	1								1	
医療経営法務	1-2後③	1								1	
医事・薬事法概論	1前②	1	1								
医療リスクマネジメント概論	1-2前②	1									1
ナノ物性特論	1-2後③	2									1
電子デバイス特論	1-2後③	2									1
先端材料プロセス化学	1-2後③	2									5
環境無機機能性材料工学	1-2後③	2									1
小計(60科目)	-	0	70	0	18	10	4	8	0	37	
合計(86科目)	-	33	82	0	20	11	4	9	0	58	

卒業要件及び履修方法

修了要件は、博士前期課程に2年以上在学し、34単位以上(共通科目については、必修科目23単位、選択科目3単位以上、専門科目については、8単位以上)を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。

博士前期・後期課程一貫コースについては、博士前期課程に2年以上在学し、34単位以上(共通科目については、必修科目23単位、選択科目3単位以上、専門科目については、8単位以上)を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統 合 科 目	ヘルスシステム統合科学特別研究	1~2通	10			20	10	3	3			
	ヘルスシステム統合科学特別課題研究(未開講)	1~2通	10			20	10	3	3			
	医療政策	1前②	1									3
	医学研究概論	1前①	1									1
	ケアの比較文化論	1後③	1									1
	バイオ・創薬科学概論	1-2前①	1			6	2					
	医療機器材料科学概論	1-2前①	1			5	2	1				
	ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論	1-2前①	1			9	3	1				
	ヘルスシステム統合科学演習	1後③	1			8	1	2				
	実践ヘルスシステム統合科学	1後④	1			8	1	2				
	ヘルスシステム統合科学総論I	1前①	1			4	1	1				
	ヘルスシステム統合科学総論II	1前②	1			3	1	1				1
	倫理総論	1前②	1			2		1				
	技術表現発表学	1後③	1			19						1
	ヘルスシステム統合科学専門英語	1後④	1			19		2	1			
	医療管理	1後③	1									1
	先進病院実習	1前②	1			2						1
	ヘルスシステム統合科学インターシッブ	1通	2			4	1	1				
	ビッグデータ構築・解析学	1-2後④	1			2						
	ビッグデータ学	1-2後③	1			4	1	1				
	安全インタフェースシステム学	1-2前①	1			1						
	医療ビジネスマネジメント概論	1前②	1									1
	老いと看取りと死の文化論	1-2後④	1									4
	死生観の宗教社会学	1-2前②	1									1
	ケア学(未開講)	1-2前①	1			1						1
	ケア学演習(未開講)	1-2前①	1			1						6
小計(26科目)	—	33	12	0	20	11	4	4	0		20	
専 門 科 目	人工生体機能分子設計学	1-2後③	1			1			1			
	分子酵素学(未開講)	1-2後③	1				1					
	分子生理学(未開講)	1-2前②	1			1						
	遺伝子機能制御工学	1-2前①	1						1			
	細胞内シグナル伝達科学	1-2前②	1			1			1			
	細胞機能工学(未開講)	1-2前②	1				1					
	生体材料設計学(未開講)	1-2前②	2			1						
	生体材料科学(未開講)	1-2後④	1				1					
	RNA工学(未開講)	1-2前②	1			1						
	蛋白質分子工学	1-2前②	1				1					
	ナノバイオ分子設計学	1-2前②	1			1						
	分子細胞生物学	1-2前①	1				1					
	オルガネラシステム工学	1-2前①	1				1					
	組織工学概論	1-2後④	1									2
	音声情報処理特論I	1-2前①	1			1						
	音声情報処理特論II	1-2前②	1			1						
	情報学管理論	1-2後③	1					1				
	ネットワークアーキテクチャI	1-2前①	1			1						
	ネットワークアーキテクチャII	1-2前②	1			1						
	センシング工学特論	1-2前①	1			1						
	光計測工学特論	1-2前①	1				1					
	知能工学特論	1-2後③	1					1				
	医用ロボット学特論	1-2前②	1					1				
	認知神経科学	1-2後③	2			1						
	生体信号処理特論	1-2前①	2				1					
	ヘルスプロモーション科学	1-2前②	2			1	1					7
先端医療疾病管理論(未開講)	1-2前①	1			1						8	
社会医療疾病管理論(未開講)	1-2前②	1			1						6	

ヘルスシステム統合科学の応用実習(未開講)	1-2後③④	1		1						2
実践基礎看護学特論(未開講)	1-2前②	1		1						
生命健康情報理工学特論I(未開講)	1-2前①	1			1					
生命健康情報理工学特論II(未開講)	1-2前②	1			1					
生命健康情報理工学演習	1-2後③④	1			1					
生体情報解析学特論	1-2前①②	2		1						
生体情報解析学演習(未開講)	1-2後③④	1		1						
医療対話学	1-2後③④	2		2						2
機能修復医学特論(未開講)	1-2前①	1			1					
臨床科学概論	1-2前②	1		1						
疫学入門(未開講)	1-2前①②	1								2
医療システムデザイン学	1-2後④	1								2
ヒューマン共生思想哲学	1-2前②	1		1						
ヒューマンライフ価値論	1-2後③	1		1						
東アジア老年思想文化論	1-2前②	1		1						
日本思想史・死生観特論	1-2後④	1		1						
科学技術史・技術論	1-2後③	1		1						
高齢社会科学技術論	1-2前②	1		1						
臨床死生学Ⅰ	1-2前①	1			1					
臨床死生学Ⅱ	1-2後③	1			1					
医療福祉制度比較論	1-2後③	1								1
ソーシャルイノベーション論	1-2前②	1			1					
医療関係法1(医療機関法)	1-2前②	1		1						
医療関係法2(医療行為法)	1-2後③	1		1						
介護福祉と法(未開講)	1-2後③	1								1
医療経営法務	1-2後③	1								1
医事・薬事法概論	1前②	1		1						
医療リスクマネジメント概論	1-2前②	1								1
ナノ物性特論	1-2後③	2								1
電子デバイス特論	1-2後③	2								1
先端材料プロセス化学	1-2後③	2								5
環境無機機能性材料工学	1-2後③	2								1
小計(60科目)	-	0	70	0	18	10	4	3	0	38
合計(86科目)	-	33	82	0	20	11	4	4	0	57
卒業要件及び履修方法										
<p>修了要件は、博士前期課程に2年以上在学し、34単位以上(共通科目については、必修科目23単位、選択科目3単位以上、専門科目については、8単位以上)を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>博士前期・後期課程一貫コースについては、博士前期課程に2年以上在学し、34単位以上(共通科目については、必修科目23単位、選択科目3単位以上、専門科目については、8単位以上)を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。</p>										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・兼任教員の辞退により、「ケア学演習」の兼任・兼担を「7」から「6」に変更。
- ・教育体制を強化するために、以下のとおり専門科目（選択）を4科目追加し、それぞれ兼任教員で担うこととした。
「ナノ物性特論（兼担1）」、「電子デバイス特論（兼担1）」、「先端材料プロセス化学（兼担5）」、「環境無機機能性材料工学（兼担1）」。

【令和元年度】

- ・教育体制を強化するために、平成31年4月1日付けで助教5名を専任教員として就任させ、以下の科目について設置計画の専任教員等に加え協働して担当することとした。（助教4名：平成30年11月教員審査済。助教1名：平成31年1月教員審査済。）
「ヘルスシステム統合科学特別研究（+5助教）」、「ヘルスシステム統合科学特別課題研究（+5助教）」、「ヘルスシステム統合科学演習（+4助教）」、「ナノバイオ分子設計学（+1助教）」、「分子細胞生物学（+1助教）」、「ネットワークアーキテクチャⅠ（+1助教）」、「ネットワークアーキテクチャⅡ（+1助教）」、「センシング工学特論（+1助教）」、「光計測工学特論（+1助教）」、「認知神経科学（+1助教）」。
- ・教育体制を強化するために、「先進病院実習」に兼任教員を1名追加し、協働して担当することとした。
- ・教育体制を強化するために、「ケア学演習」に兼任教員を1名追加し、協働して担当することとした。
- ・「先端医療疾病管理論」、「社会医療疾病管理論」、「ヘルスシステム統合科学応用学実習」について、兼任教員が就任しなくなったことに伴い兼任1名減。
- ・「生体材料設計学」の配当年次（開講時期）変更（1・2前②→1・2前①②）
- ・「機能修復医学特論」の配当年次（開講時期）変更（1・2前①→1・2前①②）

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	67 科目	科目	82 科目	15 科目 []	71 科目 [+4]	科目 []	86 科目 [+4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{82} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	671,441 m ²	0 m ²	0 m ²	671,441 m ²			
	運動場用地	92,955 m ²	0 m ²	0 m ²	92,955 m ²			
	小 計	764,396 m ²	0 m ²	0 m ²	764,396 m ²			
	そ の 他	41,161 m ²	0 m ²	0 m ²	41,161 m ²			
	合 計	805,557 m ²	0 m ²	0 m ²	805,557 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		346,753 m ² (346,753 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	346,753 m ² (346,753 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	163 室	150 室	296 室	21 室 (補助職員 13 人)	3 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 専任教員5名を新規 採用のため(元)		
	ヘルスシステム統合科学研究科		4 4 -3-9 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位で特定不明 なため、大学全体の数 (機械・器具、標本を 除く) 購入・廃棄のため (元) 機械・器具について は、研究科に帰属する 機械・器具を再度精査 したこと、及び購入の ために増加(元)
	ヘルスシステム 統合科学研究科	2,049,625 [679,361] 2,033,948 [672,573] (2,049,625 [679,361]) (2,033,948 [672,573])	49,858 [17,410] 50,918 [17,739] (49,858 [17,410]) (50,918 [17,739])	22,230 [22,225] 22,988 [22,983] (22,230 [22,225]) (22,988 [22,983])	5,537 6,216 (5,537) (6,216)	650 1,021 (650) (1,021)	0 (0)	
	計	2,049,625 [679,361] 2,033,948 [672,573] (2,049,625 [679,361]) (2,033,948 [672,573])	49,858 [17,410] 50,918 [17,739] (49,858 [17,410]) (50,918 [17,739])	22,230 [22,225] 22,988 [22,983] (22,230 [22,225]) (22,988 [22,983])	5,537 6,216 (5,537) (6,216)	650 1,021 (650) (1,021)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数					
	20,738 20,813 m ²	1,553 1,573 席	1,514,666 1,521,361 冊	大学全体 三朝地区記入漏れの追 記のため(元)				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	10,897 m ²	陸上競技場、野球場、テニスコート、弓道場、プール等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部					学士(文学)、学士(学術)	1.02			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700		1.02		平成16年度		
教育学部					学士(教育学)、学士(学術)	1.01			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1,000		1.02		平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.00		昭和53年度		
法学部					学士(法学)、学士(学術)	1.03			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科										
昼間コース	4	205	—	820		1.02		平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.08		平成16年度		
経済学部					学士(経済学)、学士(学術)	1.03			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科										
昼間コース	4	205	—	820		1.03		平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.07		平成16年度		
理学部					学士(理学)、学士(学術)	1.05			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	3年次20	80		1.03		平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.04		平成7年度		
化学科	4	30		120		1.07		平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.06		平成7年度		
地球科学科	4	25		100		1.07		平成7年度		
医学部					学士(医学)、学士(看護学)、学士(保健学)、学士(学術)	0.99			岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	112	2年次5	709		1.00	平成30年度	昭和24年度		
保健学科						0.98				
看護学専攻	4	80	3年次10	340		0.98		平成10年度		
放射線技術科学専攻	4	40	3年次5	170		0.99		平成10年度		
検査技術科学専攻	4	40	3年次5	170		0.99		平成10年度		
歯学部					学士(歯学)	1.00			岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
歯学科	6	48	2年次5	308		1.00		昭和54年度		学生受入は昭和55年度
薬学部					学士(薬学)、学士(創薬科学)、学士(学術)	1.02			岡山市北区津島中一丁目1番1号	
薬学科	6	40	—	240		1.02		平成18年度		
創薬科学科	4	40	—	160		1.02		平成18年度		
工学部					学士(工学)、学士(学術)	1.03			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
機械システム系学科	4	160	3年次30	640		1.02		平成23年度		
電気通信系学科	4	100		400		1.04		平成23年度		
情報系学科	4	60		240		1.01		平成23年度		
化学生命系学科	4	140		560		1.03		平成23年度		

環境理工学部				学士(環境理工学)、学士(学術)	1.04				岡山市北区津島中三丁目1番1号	
環境数理学科	4	20	—	80	1.01	平成6年度				
環境デザイン工学科	4	50	—	200	1.06	平成6年度				
環境管理工学科	4	40	—	160	1.05	平成6年度				
環境物質工学科	4	40	—	160	1.06	平成6年度				
農学部				学士(農学)、学士(学術)	1.03				岡山市北区津島中一丁目1番1号	
総合農業科学科	4	120	—	480	1.03	昭和61年度				
大学全体	2,195	2年次10 3年次70		9,377	—	1.01	—	—	—	
教育学研究科				修士(教育学)	1.17				岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(修士課程)										
教育科学専攻	2	37	—	74	1.17	平成30年度				平成30年度より学生募集停止
学校教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
発達支援学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
教科教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
教育臨床心理学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
(専門職学位課程)				教職修士(専門職)	0.78					
教職実践専攻	2	45	—	90	0.78	平成30年度				平成30年度より学生募集停止
教職実践専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
社会文化科学研究科									岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成18年度より名称変更
(博士前期課程)				修士(文学)、修士(法学)、修士(経済学)、修士(経営学)、修士(公共政策学)、修士(文化科学)、修士(学術)	0.55					
国際社会専攻	2	14	—	28	0.46	平成30年度				
日本・アジア文化専攻	2	12	—	24	0.79	平成30年度				
人間社会文化専攻	2	30	—	60	0.55	平成30年度				
法政理論専攻	2	15	—	30	0.33	平成30年度				
経済理論・政策専攻	2	6	—	12	0.49	平成30年度				
組織経営専攻	2	11	—	22	0.77	平成18年度				平成30年度から定員減 14→11
社会文化基礎学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度				平成30年度より学生募集停止
比較社会文化学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度				
公共政策科学専攻	2	—	—	—	—	平成18年度				
(博士後期課程)				博士(文学)、博士(法学)、博士(経済学)、博士(経営学)、博士(文化科学)、博士(学術)	0.66					
社会文化学専攻	3	12	—	36	0.66	平成16年度				
自然科学研究科									岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(理学)、修士(工学)、修士(学術)	1.08					
数理物理学専攻	2	38	—	76	0.82	平成11年度				
分子科学専攻	2	24	—	48	1.01	平成17年度				
生物科学専攻	2	22	—	44	0.95	平成17年度				
地球科学専攻	2	16	—	32	0.96	平成11年度				
機械システム工学専攻	2	98	—	196	1.20	平成11年度				
電子情報システム工学専攻	2	90	—	180	1.13	平成11年度				
応用化学専攻	2	50	—	100	1.11	平成27年度				
生命医用工学専攻	2	—	—	—	—	平成27年度				平成30年度より学生募集停止

(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(学術)	0.49						
数理物理学専攻	3	6	—	22	0.53	平成24年度				平成30年度から定員減 10→6	
地球生命物質科学専攻	3	11	—	39	0.41	平成24年度				平成30年度から定員減 17→11	
学際基礎科学専攻	3	10	—	20	0.45	平成30年度					
産業創成工学専攻	3	18	—	57	0.53	平成17年度				平成30年度から定員減 21→18	
応用化学専攻	3	5	—	17	0.60	平成27年度				平成30年度から定員減 7→5	
化学生命工学専攻	3	—	—	—	—	平成24年度				平成27年度より学生募集停止	
生命医用工学専攻	3	—	—	—	—	平成27年度				平成30年度より学生募集停止	
(博士課程) 5年一貫制				博士(理学), 博士(学術)	0.65						
地球惑星物質科学専攻	5	4	—	20	0.65	平成21年度					
保健学研究科										岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(博士前期課程)				修士(看護学), 修士(保健学)	1.03						
保健学専攻	2	26	—	52	1.03	平成15年度					
(博士後期課程)				博士(看護学), 博士(保健学)	0.96						
保健学専攻	3	10	—	30	0.96	平成17年度					
環境生命科学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(理学), 修士(工学), 修士(環境学), 修士(農学), 修士(学術)	0.85						
社会基盤環境学専攻	2	30	—	60	0.66	平成24年度					
生命環境学専攻	2	23	—	46	0.93	平成24年度					
資源循環学専攻	2	43	—	86	0.84	平成24年度					
生物資源科学専攻	2	25	—	50	0.88	平成24年度					
生物生産科学専攻	2	38	—	76	0.94	平成24年度					
(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(環境学), 博士(農学), 博士(学術)	0.47						
環境科学専攻	3	22	—	66	0.46	平成24年度					
農生命科学専攻	3	20	—	60	0.50	平成24年度					
医歯薬学総合研究科										岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(修士課程)				修士(医学), 修士(公衆衛生学), 修士(歯科学), 修士(学術)	1.20						
医歯科学専攻	2	20	—	40	1.20	平成17年度					
(博士前期課程)				修士(薬科学)	0.93						
薬科学専攻	2	37	—	74	0.93	平成22年度				平成30年度から定員減 40→37	
(博士後期課程)				博士(薬科学), 博士(薬学), 博士(学術)	0.18						
薬科学専攻	3	9	—	28	0.18	平成24年度				平成30年度から定員減 10→9	
(博士課程)				博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学), 博士(学術)	1.01						
生体制御科学専攻	4	25	—	100	1.21	平成17年度					
病態制御科学専攻	4	62	—	248	0.99	平成17年度					
機能再生・再建科学専攻	4	28	—	112	0.86	平成17年度					
社会環境生命科学専攻	4	13	—	52	1.09	平成17年度					
ヘルスシステム統合科学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(統合科学)	0.99						
ヘルスシステム統合科学専攻	2	80	—	160	0.99	平成30年度					
(博士後期課程)				博士(統合科学)	0.37						

ヘルスシステム統合科学専攻	3	16	—	32		0.37		平成30年度	
法務研究科 (専門職学位課程)					法務博士(専門職)	0.66			岡山市北区津島中三丁目1番1号
法務専攻	3	24	—	72		0.66		平成16年度	平成29年度から定員減 30→24
大学院全体		1,125	—	2,671	—	0.77	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	永坂 岳司 <平成31年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 先進病院実習 ※ ヘルスプロモーション科学 ※ 先端医療管理論 ※ 社会医療管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習 医療対話学 ※
兼任	講師	永坂 岳司 <平成30年4月>	先端医療管理論 ※ 社会医療管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習
専任	教授	岡 久雄 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体情報解析学特論 生体情報解析学演習
専任	教授	森田 瑞樹 <平成31年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体情報解析学特論 生体情報解析学演習
専任	教授	兵藤 好美 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 先進病院実習 ※ ケア学 ※ ケア学演習 ※ 実践基礎看護学特論 医療対話学 ※
専任	教授	狩野 光伸 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ 臨床科学総論 【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	永坂 岳司 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体情報解析学特論 生体情報解析学演習
兼任	講師	永坂 岳司 <平成30年4月>	先端医療管理論 ※ 社会医療管理論 ※ ヘルスシステム統合科学応用学実習
専任	教授	岡 久雄 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体情報解析学特論 生体情報解析学演習
専任	教授	兵藤 好美 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 先進病院実習 ※ ケア学 ※ ケア学演習 ※ 実践基礎看護学特論 医療対話学 ※
専任	教授	狩野 光伸 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ 臨床科学総論 【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	森田 瑞樹 <平成31年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 生体情報解析学特論 生体情報解析学演習
専任	教授	兵藤 好美 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 先進病院実習 ※ ケア学 ※ ケア学演習 ※ 実践基礎看護学特論 医療対話学 ※
専任	教授	狩野 光伸 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学 基礎論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 技術表現発表学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ 臨床科学総論 【隔年】

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	出村 和彦 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		ヘルシシステム統合科学演習
		実践ヘルシシステム統合科学
技術表現英学		
ヘルシシステム統合科学専門英語		
ヒューマン共生思想学		
ヒューマンライフ価値論		
専	教授	本村 昌文 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		ヘルシシステム統合科学演習
		実践ヘルシシステム統合科学
技術表現英学		
ヘルシシステム統合科学専門英語		
ヘルシシステム統合科学インターンシップ		
東アジア老年思想文化論		
日本思想史・死生観特論		
専	教授	山下 登 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		倫理概論 ※
		技術表現英学
ヘルシシステム統合科学専門英語		
医療関係法1(医療機関法)		
医療関係法2(医療行為法)		
医事・薬事法規論		
専	教授	吉葉 恭行 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		ヘルシシステム統合科学総論I ※
		ヘルシシステム統合科学総論II ※
倫理概論 ※		
技術表現英学		
ヘルシシステム統合科学専門英語		
科学技術史・技術論		
高齢社会科学技術論		
専	教授	藤井 大児 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
専	准教授	飛松 孝正 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
専	准教授	金山 直樹 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
専	准教授	吉岡 朋彦 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	出村 和彦 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		ヘルシシステム統合科学演習
		実践ヘルシシステム統合科学
技術表現英学		
ヘルシシステム統合科学専門英語		
ヒューマン共生思想学		
ヒューマンライフ価値論		
専	教授	本村 昌文 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		ヘルシシステム統合科学演習
		実践ヘルシシステム統合科学
技術表現英学		
ヘルシシステム統合科学専門英語		
ヘルシシステム統合科学インターンシップ		
東アジア老年思想文化論		
日本思想史・死生観特論		
専	教授	山下 登 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		倫理概論 ※
		技術表現英学
ヘルシシステム統合科学専門英語		
医療関係法1(医療機関法)		
医療関係法2(医療行為法)		
医事・薬事法規論		
専	教授	吉葉 恭行 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		ヘルシシステム統合科学総論I ※
		ヘルシシステム統合科学総論II ※
倫理概論 ※		
技術表現英学		
ヘルシシステム統合科学専門英語		
科学技術史・技術論		
高齢社会科学技術論		
専	教授	藤井 大児 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
専	准教授	飛松 孝正 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
専	准教授	金山 直樹 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
専	准教授	吉岡 朋彦 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	出村 和彦 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		ヘルシシステム統合科学演習
		実践ヘルシシステム統合科学
技術表現英学		
ヘルシシステム統合科学専門英語		
ヒューマン共生思想学		
ヒューマンライフ価値論		
専	教授	本村 昌文 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		ヘルシシステム統合科学演習
		実践ヘルシシステム統合科学
技術表現英学		
ヘルシシステム統合科学専門英語		
ヘルシシステム統合科学インターンシップ		
東アジア老年思想文化論		
日本思想史・死生観特論		
専	教授	山下 登 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		倫理概論 ※
		技術表現英学
ヘルシシステム統合科学専門英語		
医療関係法1(医療機関法)		
医療関係法2(医療行為法)		
医事・薬事法規論		
専	教授	吉葉 恭行 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
		ヘルシシステム統合科学特別課題研究
		ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※
		ヘルシシステム統合科学総論I ※
		ヘルシシステム統合科学総論II ※
倫理概論 ※		
技術表現英学		
ヘルシシステム統合科学専門英語		
科学技術史・技術論		
高齢社会科学技術論		
専	教授	藤井 大児 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
専	准教授	飛松 孝正 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
専	准教授	金山 直樹 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究
専	准教授	吉岡 朋彦 <平成30年4月>
		ヘルシシステム統合科学特別研究

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	二見 淳一郎 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 蛋白質分子工学 【隔年】
専	准教授	村上 宏 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 分子細胞生物学 【隔年】
専	准教授	佐藤 あやの ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ オルガネラシステム工学 【隔年】
専	准教授	紀和 利彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ センシング工学特論 光計測工学特論
専	准教授	高橋 智 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 生体信号処理特論
専	准教授	坂田 将皇 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ ヘルスプロモーション科学 ※ 生命健康情報理工学特論Ⅰ 生命健康情報理工学特論Ⅱ 生命健康情報理工学演習
専	准教授	松尾 俊彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ 機能修復医学特論
専	准教授	上杉 健志 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学
専	講師	青尾 謙 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ビッグデータ学 ※ ソーシャルイノベーション論
専	講師	相田 敏明 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 情報学習理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	二見 淳一郎 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 蛋白質分子工学 【隔年】
専	准教授	村上 宏 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 分子細胞生物学 【隔年】
専	准教授	佐藤 あやの ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ オルガネラシステム工学 【隔年】
専	准教授	紀和 利彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ センシング工学特論 光計測工学特論
専	准教授	高橋 智 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 生体信号処理特論
専	准教授	坂田 将皇 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ ヘルスプロモーション科学 ※ 生命健康情報理工学特論Ⅰ 生命健康情報理工学特論Ⅱ 生命健康情報理工学演習
専	准教授	松尾 俊彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ 機能修復医学特論
専	准教授	上杉 健志 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学
専	講師	青尾 謙 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ビッグデータ学 ※ ソーシャルイノベーション論
専	講師	相田 敏明 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 情報学習理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	二見 淳一郎 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ 蛋白質分子工学 【隔年】
専	准教授	村上 宏 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 分子細胞生物学 【隔年】
専	准教授	佐藤 あやの ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 バイオ・創薬科学概論 ※ オルガネラシステム工学 【隔年】
専	准教授	紀和 利彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ センシング工学特論 光計測工学特論
専	准教授	高橋 智 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 生体信号処理特論
専	准教授	坂田 将皇 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルスシステム統合科学インターンシップ ビッグデータ学 ※ ヘルスプロモーション科学 ※ 生命健康情報理工学特論Ⅰ 生命健康情報理工学特論Ⅱ 生命健康情報理工学演習
専	准教授	松尾 俊彦 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学総論Ⅰ ※ 機能修復医学特論
専	准教授	上杉 健志 ＜平成30年4月＞
		ヒューマンイノベーション・ヘルスケア科学概論 ※ ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学
専	講師	青尾 謙 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学演習 実践ヘルスシステム統合科学 ヘルスシステム統合科学専門英語 ビッグデータ学 ※ ソーシャルイノベーション論
専	講師	相田 敏明 ＜平成30年4月＞
		ヘルスシステム統合科学特別研究 ヘルスシステム統合科学特別課題研究 情報学習理論

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	亀川 哲志 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 知能工学特論 医用ロボット学特論
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※ ヘルシシステム統合科学演習 実践ヘルシシステム統合科学 ヘルシシステム統合科学総論Ⅰ ※ ヘルシシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルシシステム統合科学専門英語 ヘルシシステム統合科学インターンシップ 倫理概論 ※ 臨床死生学Ⅰ 臨床死生学Ⅱ
専	助教	森 光一 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 人工生体機能分子設計学 ※
専	助教	早川 徹 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 遺伝子機能制御工学 【同年】
専	助教	曲 正樹 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 細胞内シグナル伝達科学 ※【同年】
専	助教	袴田 玲 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学専門英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	亀川 哲志 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 知能工学特論 医用ロボット学特論
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※ ヘルシシステム統合科学演習 実践ヘルシシステム統合科学 ヘルシシステム統合科学総論Ⅰ ※ ヘルシシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルシシステム統合科学専門英語 ヘルシシステム統合科学インターンシップ 倫理概論 ※ 臨床死生学Ⅰ 臨床死生学Ⅱ
専	助教	森 光一 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 人工生体機能分子設計学 ※
専	助教	早川 徹 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 遺伝子機能制御工学 【同年】
専	助教	曲 正樹 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 細胞内シグナル伝達科学 ※【同年】
専	助教	袴田 玲 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学専門英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	亀川 哲志 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 医療機器材料学概論 ※ 知能工学特論 医用ロボット学特論
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 ヒューマンイノベーション・ヘルケア科学概論 ※ ヘルシシステム統合科学演習 実践ヘルシシステム統合科学 ヘルシシステム統合科学総論Ⅰ ※ ヘルシシステム統合科学総論Ⅱ ※ ヘルシシステム統合科学専門英語 ヘルシシステム統合科学インターンシップ 倫理概論 ※ 臨床死生学Ⅰ 臨床死生学Ⅱ
専	助教	森 光一 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 人工生体機能分子設計学 ※
専	助教	早川 徹 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 遺伝子機能制御工学 【同年】
専	助教	曲 正樹 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 細胞内シグナル伝達科学 ※【同年】
専	助教	袴田 玲 <平成30年4月>	ヘルシシステム統合科学専門英語
専	助教	増田 潤子 <平成31年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 分子細胞生化学 【同年】
専	助教	岡田 宣宏 <平成31年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 ヘルシシステム統合科学演習 ナノバイオ分子設計学 【同年】
専	助教	堺 健司 <平成31年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 ヘルシシステム統合科学演習 センシング工学特論 先端工学分論
専	助教	橋 家家 <平成31年4月>	ヘルシシステム統合科学特別研究 ヘルシシステム統合科学特別課題研究 ヘルシシステム統合科学演習 認知神経科学

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	津田 敏秀 ＜平成30年4月＞
		疫学入門
兼任	教授	西田 和弘 ＜平成30年4月＞
		介護福祉と法 【隔年】
兼任	教授	佐藤 吾郎 ＜平成30年4月＞
		医療経営法務 【隔年】
兼任	教授	山田 了士 ＜平成30年4月＞
		社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	光延 文裕 ＜平成30年4月＞
		社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	松本 卓也 ＜平成30年4月＞
		組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	教授	深井 喜代子 ＜平成30年4月＞
		ケア学 ※ ケア学演習 ※
兼任	教授	宮原 信明 ＜平成30年4月＞
		ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	谷垣 静子 ＜平成30年4月＞
		ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	山岡 聖典 ＜平成30年4月＞
		ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	齋藤 信也 ＜平成30年4月＞
		医療対話学 ※
兼任	教授	中塚 幹也 ＜平成30年4月＞
		医療対話学 ※
兼任	教授	千田 益生 ＜平成30年4月＞
		社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	保科 英子 ＜平成30年4月＞
		ケア学演習 ※
兼任	教授	金澤 右 ＜平成30年4月＞
		先進病院実習 ※
兼任	教授	那須 保友 ＜平成30年4月＞
		医学研究概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	津田 敏秀 ＜平成30年4月＞
		疫学入門
兼任	教授	西田 和弘 ＜平成30年4月＞
		介護福祉と法 【隔年】
兼任	教授	佐藤 吾郎 ＜平成30年4月＞
		医療経営法務 【隔年】
兼任	教授	山田 了士 ＜平成30年4月＞
		社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	光延 文裕 ＜平成30年4月＞
		社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	松本 卓也 ＜平成30年4月＞
		組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	教授	深井 喜代子 ＜平成30年4月＞
		ケア学 ※ ケア学演習 ※
兼任	教授	宮原 信明 ＜平成30年4月＞
		ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	谷垣 静子 ＜平成30年4月＞
		ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	山岡 聖典 ＜平成30年4月＞
		ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	齋藤 信也 ＜平成30年4月＞
		医療対話学 ※
兼任	教授	中塚 幹也 ＜平成30年4月＞
		医療対話学 ※
兼任	教授	千田 益生 ＜平成30年4月＞
		社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	保科 英子 ＜平成30年4月＞
		ケア学演習 ※
兼任	教授	金澤 右 ＜平成30年4月＞
		先進病院実習 ※
兼任	教授	那須 保友 ＜平成30年4月＞
		医学研究概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		樽谷 優弥 ＜平成31年4月＞
		ヘルスシステム総合科学特設研究 ヘルスシステム総合科学特設国際研究 ヘルスシステム総合科学演習 ネットワークアーキテクチャⅠ ネットワークアーキテクチャⅡ
兼任	教授	津田 敏秀 ＜平成30年4月＞
		疫学入門
兼任	教授	西田 和弘 ＜平成30年4月＞
		介護福祉と法 【隔年】
兼任	教授	佐藤 吾郎 ＜平成30年4月＞
		医療経営法務 【隔年】
兼任	教授	山田 了士 ＜平成30年4月＞
		社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	光延 文裕 ＜平成30年4月＞
		社会医療疾病管理論 ※
兼任	教授	松本 卓也 ＜平成30年4月＞
		組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	講師	深井 喜代子 ＜平成30年4月＞
		ケア学 ※ ケア学演習 ※
兼任	教授	宮原 信明 ＜平成30年4月＞
		ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	谷垣 静子 ＜平成30年4月＞
		ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	山岡 聖典 ＜平成30年4月＞
		ヘルスプロモーション科学 ※
兼任	教授	齋藤 信也 ＜平成30年4月＞
		医療対話学 ※
兼任	教授	中塚 幹也 ＜平成30年4月＞
		医療対話学 ※
兼任	教授	千田 益生 ＜平成30年4月＞
		社会医療疾病管理論 ※
兼任	講師	保科 英子 ＜平成30年4月＞
		ケア学演習 ※
兼任	教授	金澤 右 ＜平成30年4月＞
		先進病院実習 ※
兼任	教授	那須 保友 ＜平成30年4月＞
		医学研究概論

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	中瀬 克己 <平成30年4月>	新療政策 ※
兼任	教授	佐々木 守俊 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	頼藤 貴志 <平成30年4月>	疫学入門
兼任	准教授	中村 一文 <平成30年4月>	先端医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	寺田 整司 <平成30年4月>	社会医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	岡田 正弘 <平成30年4月>	組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	准教授	内田 治仁 <平成30年4月>	先端医療疾病管理論 ※
兼任	助教	芳我 ちより <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※
兼任	准教授	柴倉 美砂子 <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※
兼任	准教授	沖中 由美 <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※
兼任	准教授	渡邊 豊彦 <平成30年4月>	医療管理
兼任	准教授	原田 新 <平成30年4月>	医療政策 ※
兼任	准教授	KHARE PRAJAKTA AMIT <平成30年4月>	技術表現英表学
兼任	准教授	中東 靖恵 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	松村 圭一郎 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	大貴 俊夫 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	講師	山崎 修 <平成30年4月>	先端医療疾病管理論 ※
兼任	講師	片岡 久美恵 <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中瀬 克己 <平成30年4月>	医療政策 ※
兼任	教授	佐々木 守俊 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	頼藤 貴志 <平成30年4月>	疫学入門
兼任	准教授	中村 一文 <平成30年4月>	先端医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	寺田 整司 <平成30年4月>	社会医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	岡田 正弘 <平成30年4月>	組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	准教授	内田 治仁 <平成30年4月>	先端医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	芳我 ちより <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※
兼任	准教授	柴倉 美砂子 <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※
兼任	准教授	沖中 由美 <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※
兼任	准教授	渡邊 豊彦 <平成30年4月>	医療管理
兼任	准教授	原田 新 <平成30年4月>	医療政策 ※
兼任	准教授	KHARE PRAJAKTA AMIT <平成30年4月>	技術表現英表学
兼任	准教授	中東 靖恵 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	松村 圭一郎 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	大貴 俊夫 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	講師	山崎 修 <平成30年4月>	先端医療疾病管理論 ※
兼任	講師	片岡 久美恵 <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中瀬 克己 <平成30年4月>	医療政策 ※
兼任	教授	佐々木 守俊 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	頼藤 貴志 <平成30年4月>	疫学入門
兼任	准教授	中村 一文 <平成30年4月>	先端医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	寺田 整司 <平成30年4月>	社会医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	岡田 正弘 <平成30年4月>	組織工学概論 ※ 医療システムデザイン学 ※
兼任	准教授	内田 治仁 <平成30年4月>	先端医療疾病管理論 ※
兼任	准教授	芳我 ちより <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※
兼任	准教授	柴倉 美砂子 <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※
兼任	准教授	沖中 由美 <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※
兼任	准教授	渡邊 豊彦 <平成30年4月>	医療管理
兼任	准教授	原田 新 <平成30年4月>	医療政策 ※
兼任	講師	KHARE PRAJAKTA AMIT <平成30年4月>	技術表現英表学
兼任	准教授	中東 靖恵 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	准教授	松村 圭一郎 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	講師	大貴 俊夫 <平成30年4月>	老いと看取りと死の文化論 ※
兼任	講師	山崎 修 <平成30年4月>	先端医療疾病管理論 ※
兼任	講師	片岡 久美恵 <平成30年4月>	ヘルスポモーション科学 ※

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大倉 美穂 <平成30年4月> ケア学演習 ※
兼任	講師	長江 宏美 <平成30年4月> ケア学演習 ※
兼任	講師	林 行成 <平成30年4月> 医療ビジネスマネジメント概論 医療福祉制度比較論
兼任	講師	赤堀 勝彦 <平成30年4月> 医療リスクマネジメント概論
兼任	講師	諸岡 了介 <平成30年4月> 死生観の宗教社会学

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	亀島 欣一 <平成30年4月> 医療福祉制度比較論 材料工学
兼任	講師	長江 宏美 <平成30年4月> ケア学演習 ※
兼任	講師	林 行成 <平成30年4月> 医療ビジネスマネジメント概論 医療福祉制度比較論
兼任	講師	赤堀 勝彦 <平成30年4月> 医療リスクマネジメント概論
兼任	講師	諸岡 了介 <平成30年4月> 死生観の宗教社会学

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	亀島 欣一 <平成30年4月> 医療福祉制度比較論 材料工学
兼任	講師	大倉 美穂 <平成31年4月> ケア学演習 ※
兼任	講師	長江 宏美 <平成30年4月> ケア学演習 ※
兼任	講師	林 行成 <平成30年4月> 医療ビジネスマネジメント概論 医療福祉制度比較論
兼任	講師	赤堀 勝彦 <平成30年4月> 医療リスクマネジメント概論
兼任	講師	山本 栄美子 <平成31年4月> 死生観の宗教社会学
兼任	講師	清水 美智 <平成31年4月> 介護福祉演習 ※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成31年4月専任教員として就任予定であった永坂教授が就任を辞退した。後任補充人事を検討する。
- ・教育体制を強化するため、兼任教員を8名追加（林教授、鶴田教授、寺西准教授、中西助教、今中助教、三野助教、渡邊助教、亀島教授）。
- ・兼任教員の犬倉講師が就任時期を平成31年4月へ延期。

【令和元年度】

- ・平成31年3月末定年退職した松岡教授の後任として、平成31年4月より専任教員として就任予定であった永坂教授が就任を辞退したことに伴い、松岡教授を平成31年4月からも専任教員として採用し授業を担当させることとした。
- ・増田助教、岡田助教、堺助教、楊助教の4名について平成31年4月より専任教員として就任。平成30年11月教員審査済。
- ・梅谷助教について平成31年4月より専任教員として就任。平成31年1月教員審査済。
- ・兼任教員の諸岡講師が就任辞退により、山本講師に変更。
- ・兼任教員の清水講師を追加。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
12 名	8 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
19	11	4	4	38	20	11	4	9	44
(20)	(11)	(4)	(4)	(39)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
35	0	3			40	1	3		
(36)	(0)	(3)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
20	11	4	9	44	19	11	4	9	43
[1]	[0]	[0]	[5]	[6]	[0]	[0]	[0]	[5]	[5]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
40	1	3			39	1	3		
[5]	[1]	[0]			[4]	[1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{44}{38} = 115.78\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{44} = 0\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	教授	永坂 岳司	H31.4	必修	ヘルスシステム統合科学特別研究	①	H30.4.2他大学へ転出し、本学への就任する意思が無いことが確認されたため就任辞退（30）		
				必修	ヘルスシステム統合科学特別課程研究	①			
				必修	エビデンスインベシジョン/ヘルスケア科学総論 ※	①			
				必修	ヘルスシステム統合科学総論！ ※	①			
				必修	技術表現発表学	①			
				必修	ヘルスシステム統合科学専門英語	①			
				選択	先進病院実習 ※	①			
				選択	ヘルスプロモーション科学 ※	①			
				選択	先端医療疾病管理論 ※	①			
				選択	社会医療疾病管理論 ※	①			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	12 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし。							
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	12 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{38} = \boxed{2.63} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	岡 久雄	必修	ヘルスシステム統合科学特別研究	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)			
			必修	ヘルスシステム統合科学特別課題研究	①				
			必修	ヒューマンインフォメーション・ヘルスケア科学 Ⅱ ※	①				
			必修	技術表現発表学	①				
			必修	ヘルスシステム統合科学専門英語	①				
			選択	生体情報解析学特論	①				
			選択	生体情報解析学演習	①				
2	教授	松岡 順治	必修	ヘルスシステム統合科学特別研究	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)			
			必修	ヘルスシステム統合科学特別課題研究	①				
			必修	ヒューマンインフォメーション・ヘルスケア科学 Ⅱ ※	①				
			必修	ヘルスシステム統合科学教諭Ⅰ ※	①				
			必修	技術表現発表学	①				
			必修	ヘルスシステム統合科学専門英語	①				
			選択	先進病院実習 ※	①				
			選択	ヘルスプロモーション科学 ※	①				
			選択	先端医療疾病管理論 ※	①				
			選択	社会医療疾病管理論 ※	①				
			選択	ヘルスシステム統合科学応用学実習	①				
			選択	医療対話学 ※	①				
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	11 科目	必修	11 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	19 科目	計	19 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

永坂教授は平成31年4月に専任教員として就任予定であったが、平成30年4月2日付け本人から就任辞退届けが提出された。これを受けて、永坂教授が担当する予定であった授業を担当できる教員人事を検討した結果、永坂教授の前任にあたる松岡教授(平成31年3月末定年退職)を、平成31年4月から専任教員(教授)として雇用することにより、当該授業科目を提供することとした。
 また、岡教授が平成31年3月末をもって定年退職となったが、当初の計画のとおり森田教授を平成31年4月から就任させ、岡教授の担当していた授業科目をそのまま担当することとした。
 いずれも、学生便覧やシラバス等をもって学生へ周知を行った。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士前期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 34単位 必修科目23単位, 選択科目11単位 ② 施設・設備 a 講義室163室 (16,812㎡) 研究科単位で特定不明なため, 大学全体の数 b 自習室9室 (461㎡) c 図書2,049,625冊 研究科単位で特定不明なため, 大学全体の数	学生の修学環境を改善するため、ヘルスシステム統合科学研究科所属学生専用の自習室を1部屋 (35㎡), 講義室を1部屋 (53㎡) 追加した。 なお、図書については購入・廃棄のため大学全体の数として2,033,948冊となった。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 研究科学務委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 学務委員会としてH30年度中に11回開催した（委員長の他、4名：研究分野毎選出の委員）。 c 委員会の審議事項等 ・研究科の教務及びFDに関する事項、入試制度方法に関する事項 ② 実施状況 a 実施内容 ヘルスシステム統合科学研究科FD研修会 b 実施方法 講演方式（一部ワークショップ形式） c 開催状況（教員の参加状況含む） H31.3.15（34名）開催 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学修意欲を高める授業の工夫、特に、統合科目の講義進行における留意点や問題の共有を図り、翌年度の講義に対するフィードバックを図った。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 全学的に実施、年4回実施予定。 b 教員や学生への公開状況、方法等 集計結果を学内限定のHP内で公開している。
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
該当なし。
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
該当なし。
- c 委員会の審議事項等
該当なし。
- d その他
該当なし。

② 審議状況

- a 審議した内容
該当なし。
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし。
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むこととしている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・自己点検・評価の結果の公表は、完成年度を迎える令和2年3月以降を予定している。
- b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定。
- ③ 認証評価を受ける計画
・令和3年度に大学改革支援・学位授与機構の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
- a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年8月31日 ）
- c 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

(2) 大学名

岡山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

〒700-8558

岡山県岡山市北区鹿田町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マキノ ヒロフミ) 榎野博史 (平成29年4月1日)		
理事	(タカハシ カヨ) 高橋香代 (平成29年4月1日)		
研究科長	(セノオ マサハル) 妹尾昌治 (平成30年4月1日)		
専攻長			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻 （博士後期課程） 博士（統合科学）	学際領域	3年	16人	48人	基礎となる学部 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	16 (-) [-]	6 (-) [6]	16 (-) [-]	6 (-) [6]	16 (-) [-]	6 (-) [6]	16 (-) [-]	6 (-) [6]	0.55倍	-	
志願者数	1 (-) [-]	6 (-) [6]	11 (-) [5]	6 (-) [-]	11 (-) [-]	6 (-) [-]	11 (-) [-]	6 (-) [-]			
受験者数	1 (-) [-]	6 (-) [6]	11 (-) [5]	6 (-) [-]	11 (-) [-]	6 (-) [-]	11 (-) [-]	6 (-) [-]			
合格者数	1 (-) [-]	6 (-) [6]	11 (-) [5]	6 (-) [-]	11 (-) [-]	6 (-) [-]	11 (-) [-]	6 (-) [-]			
B 入学者数	1 (-) [-]	6 (-) [6]	11 (-) [5]	6 (-) [-]	11 (-) [-]	6 (-) [-]	11 (-) [-]	6 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.43		0.68								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	1 [-] (-)	6 [6] (-)	11 [5] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		1 [-] (-)	6 [6] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
3年次			/		[-] (-)	[-] (-)	
計	7 [6] (-)	18 [11] (-)			[-] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	7人	0人	平成30年度	人	人	
令和元年度	18人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合科目	ヘルスシステム統合科学特論	1-2-3R12	1			8						1
	ヘルスシステム統合科学総合演習	1-2-3R24	2			9	1	1				
	ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ	1-2-3R3	2			8	1	2				
	実務インターンシップ	1-2-3R3	1			8	1	2				
	小計(4科目)		6	0	0	12	1	2	0	0		1
専門科目	生体機能制御学	1-2-3R4		1		1						
	酵素機能解析学	1-2-3R4		1		1						
	1分子生理学	1-2-3R3		1		1						
	シグナル伝達創薬	1-2-3R3		1		1						
	細胞機能開発学	1-2-3R3		1		1						
	生体素材開発学	1-2-3R3		1		1						
	生体材料表面科学	1-2-3R3		1		1						
	化学生物学	1-2-3R3		1		1						
	蛋白質分子設計学	1-2-3R4		1		1						
	生体ナノ分子工学	1-2-3R4		1		1						
	分子遺伝学	1-2-3R2		1		1						
	オルガネラ機能情報設計学	1-2-3R3		1		1						
	組織工学特論	1-2-3R4		1								2
	ヒューマンインタフェース特論	1-2-3R2		1		1						
	情報数理論	1-2-3R1		1				1				
	ネットワーク性能評価論	1-2-3R3		1		1						
	センサデバイス工学	1-2-3R1		1		1						
	計測システム応用学	1-2-3R3		1		1						
	人間支援インタフェース論	1-2-3R1		1		1						
	機能ロボット設計論	1-2-3R2		1				1				
	神経医学	1-2-3R4		1		1						
	生体信号計測学	1-2-3R3		1		1						
	複合機能設計学	1-2-3R2		1								1
	細胞制御材料学	1-2-3R2		1								1
	組織再建材料学	1-2-3R2		1								1
	機能修復医学	1-2-3R1		1		1						
	インタープロフェッショナルワーク論	1-2-3R1		2		1	1					5
	先端医療疾病管理特講	1-2-3R1		1		1						1
	ヘルスシステム統合科学応用学特講	1-2-3R2		1		1						1
	実践基礎看護学特講	1-2-3R3		1		1						
	生命健康情報理工学特講I	1-2-3R1		1		1						3
	生命健康情報理工学特講II	1-2-3R4		1		1						3
	生体機能情報学特講	1-2-3R1		2		1						
	臨床研究学	1-2-3R4		1								2
	医療技術臨床応用学	1-2-3R3		1		1						
	医療システムデザイン特論	1-2-3R4		1								2
	医薬品医療機器等法特論	1-2-3R2		1		1						
	研究倫理と法特論	1-2-3R1		1		1			1			
	医療機器関連法特論	1-2-3R3		1		1						
	人間共生哲学思想特論	1-2-3R2		1		1						
	東アジア老年思想史特論	1-2-3R3		1		1						
	科学技術開発論	1-2-3R4		1		1						
	地域社会ヒューマンケア論	1-2-3R4		1								1
	臨床死生物学特論	1-2-3R2		1				1				
	医療ビジネスマネジメント論	1-2-3R2		1								1
	医療リスクマネジメント論	1-2-3R2		1								1
小計(46科目)			0	48	0	19	10	3	0	0	18	
(研究指導)			○			20	10	3	3	0	0	
合計(50科目)			6	48	0	20	11	4	3	0	19	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合科目	ヘルスシステム統合科学特論	1-2-3R12	1			8						1
	ヘルスシステム統合科学総合演習	1-2-3R24	2			9	1	1	4			
	ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ	1-2-3R3	2			8	1	2				
	実務インターンシップ	1-2-3R3	1			8	1	2				
	小計(4科目)		6	0	0	12	1	2	4	0	0	1
専門科目	生体機能制御学	1-2-3R4		1		1						
	酵素機能解析学	1-2-3R4		1		1						
	1分子生理学	1-2-3R3		1		1						
	シグナル伝達創薬	1-2-3R3		1		1						
	細胞機能開発学	1-2-3R3		1		1						
	生体素材開発学	1-2-3R3		1		1						
	生体材料表面科学	1-2-3R3		1		1						
	化学生物学	1-2-3R3		1		1						
	蛋白質分子設計学	1-2-3R4		1		1						
	生体ナノ分子工学	1-2-3R4		1		1						1
	分子遺伝学	1-2-3R2		1		1						1
	オルガネラ機能情報設計学	1-2-3R3		1		1						
	組織工学特論	1-2-3R4		1								2
	ヒューマンインタフェース特論	1-2-3R2		1		1						
	情報数理論	1-2-3R1		1						1		
	ネットワーク性能評価論	1-2-3R3		1		1						1
	センサデバイス工学	1-2-3R1		1		1						1
	計測システム応用学	1-2-3R3		1		1						1
	人間支援インタフェース論	1-2-3R1		1		1						
	機能ロボット設計論	1-2-3R2		1						1		
	神経医学	1-2-3R4		1		1						1
	生体信号計測学	1-2-3R3		1		1				1		
	複合機能設計学	1-2-3R2		1								1
	細胞制御材料学	1-2-3R2		1								1
	組織再建材料学	1-2-3R2		1								1
	機能修復医学	1-2-3R1		1		1						
	インタープロフェッショナルワーク論	1-2-3R1		2		1	1					5
	先端医療疾病管理特講	1-2-3R1		1		1						1
	ヘルスシステム統合科学応用学特講	1-2-3R2		1		1						1
	実践基礎看護学特講	1-2-3R3		1		1						
	生命健康情報理工学特講I	1-2-3R1		1		1						3
	生命健康情報理工学特講II	1-2-3R4		1		1						3
	生体機能情報学特講	1-2-3R1		2		1						
	臨床研究学	1-2-3R4		1								2
	医療技術臨床応用学	1-2-3R3		1		1						
	医療システムデザイン特論	1-2-3R4		1								2
	医薬品医療機器等法特論	1-2-3R2		1		1						
	研究倫理と法特論	1-2-3R1		1		1				1		
	医療機器関連法特論	1-2-3R3		1		1						
	人間共生哲学思想特論	1-2-3R2		1		1						
	東アジア老年思想史特論	1-2-3R3		1		1						
	科学技術開発論	1-2-3R4		1		1						
	地域社会ヒューマンケア論	1-2-3R4		1								1
	臨床死生物学特論	1-2-3R2		1						1		
	医療ビジネスマネジメント論	1-2-3R2		1								1
	医療リスクマネジメント論	1-2-3R2		1								1
小計(46科目)			0	48	0	19	10	3	5	0	17	
(研究指導)			○			20	10	3	8	0	0	
合計(50科目)			6	48	0	20	11	4	8	0	18	

卒業要件及び履修方法

修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、必修科目5単位、選択科目7単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

博士前期・後期課程一貫コースについては、本コースの博士前期課程を修了した後、博士後期課程に3年以上在学し、必修科目6単位、選択科目6単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

卒業要件及び履修方法

修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、必修科目5単位、選択科目7単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

博士前期・後期課程一貫コースについては、本コースの博士前期課程を修了した後、博士後期課程に3年以上在学し、必修科目6単位、選択科目6単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
統合科目	ヘルスシステム統合科学特論	1-2-3R12	1			8						1
	ヘルスシステム統合科学総合演習	1-2-3R34	2			9	1	1				
	ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ(未開講)	1-2-3通	2			8	1	2				
	実務インターンシップ(未開講)	1-2-3通	1			8	1	2				
	小計(4科目)		6	0	0	12	1	2	0	0		1
専門科目	生体機能制御学(未開講)	1-2-3R34		1		1						
	酵素機能解析学	1-2-3R34		1			1					
	1分子生理学	1-2-3R33		1		1						
	シグナル伝達創薬	1-2-3R33		1		1						
	細胞機能開発学	1-2-3R33		1			1					
	生体素材開発学	1-2-3R33		1		1						
	生体材料表面科学(未開講)	1-2-3R33		1			1					
	化学生物学	1-2-3R33		1		1						
	蛋白質分子設計学(未開講)	1-2-3R34		1			1					
	生体ナノ分子工学(未開講)	1-2-3R34		1		1						
	分子遺伝学(未開講)	1-2-3R12		1			1					
	オルガネラ機能情報設計学	1-2-3R33		1			1					
	組織工学特論	1-2-3R34		1								2
	ヒューマンインタフェース特論(未開講)	1-2-3R12		1		1						
	情報数理論(未開講)	1-2-3R13		1				1				
	ネットワーク性能評価論(未開講)	1-2-3R33		1		1						
	センサデバイス工学(未開講)	1-2-3R13		1		1						
	計測システム応用学(未開講)	1-2-3R33		1			1					
	人間支援インタフェース論(未開講)	1-2-3R13		1		1						
	機能ロボット設計論(未開講)	1-2-3R12		1				1				
	神経工学	1-2-3R34		1		1						
	生体信号計測学	1-2-3R33		1			1					
	複合機能設計学(未開講)	1-2-3R12		1								1
	細胞制御材料学(未開講)	1-2-3R12		1								1
	組織再建材料学(未開講)	1-2-3R12		1								1
	機能修復医学(未開講)	1-2-3R13		1			1					
	インタープロフェッショナルワーク論(未開講)	1-2-3R12		2			1	1				5
	先端医療疾病管理特論(未開講)	1-2-3R13		1		1						1
	ヘルスシステム統合科学応用学特論(未開講)	1-2-3R12		1		1						1
	実践基礎看護学特論	1-2-3R33		1		1						
	生命健康情報理工学特論I(未開講)	1-2-3R12		1				1				3
	生命健康情報理工学特論II(未開講)	1-2-3R34		1				1				3
	生体機能情報学特論(未開講)	1-2-3R12		2		1						
	臨床研究学(未開講)	1-2-3R34		1								2
	医療技術臨床応用学	1-2-3R33		1		1						
	医療システムデザイン特論(未開講)	1-2-3R34		1								2
	医薬品医療機器等法特論(未開講)	1-2-3R12		1		1						
	研究倫理と法特論(未開講)	1-2-3R13		1		1	1		1			
	医療機器関連法特論(未開講)	1-2-3R33		1		1						
	人間共生哲学思想特論(未開講)	1-2-3R12		1		1						
	東アジア老年思想史特論(未開講)	1-2-3R33		1		1						
	科学技術開発論(未開講)	1-2-3R34		1		1						
	地域社会ヒューマンケア論(未開講)	1-2-3R34		1								1
	臨床死生学特論(未開講)	1-2-3R12		1					1			
	医療ビジネスマネジメント論(未開講)	1-2-3R12		1								1
	医療リスクマネジメント論(未開講)	1-2-3R12		1								1
	小計(46科目)		—	0	48	0	19	10	3	0	0	18
	(研究指導)		—	○			20	10	3	3	0	0
	合計(50科目)		—	6	48	0	20	11	4	3	0	19

卒業要件及び履修方法

修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、必修科目5単位、選択科目7単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
博士前期・後期課程一貫コースについては、本コースの博士前期課程を修了した後、博士後期課程に3年以上在学し、必修科目6単位、選択科目6単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

特になし。

【令和元年度】

・教育体制を強化するために、平成31年4月1日付けで助教5名を専任教員として就任させ、以下の科目について設置計画の専任教員等に加え協働して担当することとした。(助教4名：平成30年11月教員審査済。助教1名：平成31年1月教員審査済。)
 「ヘルスシステム統合科学総合演習(+4助教)」、「生体ナノ分子工学(+1助教)」、「分子遺伝学(+1助教)」、「ネットワーク性能評価論(+1助教)」、「センサデバイス工学(+1助教)」、「計測システム応用学(+1助教)」、「神経医工学(+1助教)」、「研究指導(補助を含む)(+5助教)」。

・「先端医療疾病管理特講」、「ヘルスシステム統合科学応用学特講」について、兼任教員が就任しなくなったことに伴い兼任1名減。

- (注) ・ 2(1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	46 科目	科目	50 科目	4 科目	46 科目	科目	50 科目	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし。					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{50} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	671,441 m ²	0 m ²	0 m ²	671,441 m ²			
	運動場用地	92,955 m ²	0 m ²	0 m ²	92,955 m ²			
	小 計	764,396 m ²	0 m ²	0 m ²	764,396 m ²			
	そ の 他	41,161 m ²	0 m ²	0 m ²	41,161 m ²			
	合 計	805,557 m ²	0 m ²	0 m ²	805,557 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		346,753 m ² (346,753 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	346,753 m ² (346,753 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	163 室	150 室	296 室	21 室 (補助職員 13 人)	3 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 専任教員5名を新規採用のため(元)		
	ヘルスシステム統合科学研究科		43 -3-9 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位で特定不明なため、大学全体の数(機械・器具、標本を除く) 購入・廃棄のため(元) 機械・器具については、研究科に帰属する機械・器具を再度精査したこと、及び購入のために増加(元)
	ヘルスシステム統合科学研究科	2,049,625 [679,361] 2,033,948 [672,573] (2,049,625 [679,361]) (2,033,948 [672,573])	49,858 [17,410] 50,918 [17,739] (49,858 [17,410]) (50,918 [17,739])	22,230 [22,225] 22,988 [22,983] (22,230 [22,225]) (22,988 [22,983])	5,537 6,216 (5,537) (6,216)	650 1,021 (650) (1,021)	0 (0)	
	計	2,049,625 [679,361] 2,033,948 [672,573] (2,049,625 [679,361]) (2,033,948 [672,573])	49,858 [17,410] 50,918 [17,739] (49,858 [17,410]) (50,918 [17,739])	22,230 [22,225] 22,988 [22,983] (22,230 [22,225]) (22,988 [22,983])	5,537 6,216 (5,537) (6,216)	650 1,021 (650) (1,021)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 三朝地区記入漏れの追記のため(元)		
	20,738 20,813 m ²	1,553 1,573 席		1,514,666 1,521,361 冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	10,897 m ²	陸上競技場, 野球場, テニスコート, 弓道場, プール等						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部					学士(文学)、学士(学術)	1.02			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700		1.02		平成16年度		
教育学部					学士(教育学)、学士(学術)	1.01			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1,000		1.02		平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.00		昭和53年度		
法学部					学士(法学)、学士(学術)	1.03			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科										
昼間コース	4	205	—	820		1.02		平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.08		平成16年度		
経済学部					学士(経済学)、学士(学術)	1.03			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科										
昼間コース	4	205	—	820		1.03		平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.07		平成16年度		
理学部					学士(理学)、学士(学術)	1.05			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	3年次20	80		1.03		平成7年度		
物理学科	4	35		140		1.04		平成7年度		
化学科	4	30		120		1.07		平成7年度		
生物学科	4	30		120		1.06		平成7年度		
地球科学科	4	25		100		1.07		平成7年度		
医学部					学士(医学)、学士(看護学)、学士(保健学)、学士(学術)	0.99			岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	112	2年次5	709		1.00	平成30年度	昭和24年度		
保健学科						0.98				
看護学専攻	4	80	3年次10	340		0.98		平成10年度		
放射線技術科学専攻	4	40	3年次5	170		0.99		平成10年度		
検査技術科学専攻	4	40	3年次5	170		0.99		平成10年度		
歯学部					学士(歯学)	1.00			岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
歯学科	6	48	2年次5	308		1.00		昭和54年度		学生受入は昭和55年度
薬学部					学士(薬学)、学士(創薬科学)、学士(学術)	1.02			岡山市北区津島中一丁目1番1号	
薬学科	6	40	—	240		1.02		平成18年度		
創薬科学科	4	40	—	160		1.02		平成18年度		
工学部					学士(工学)、学士(学術)	1.03			岡山市北区津島中三丁目1番1号	
機械システム系学科	4	160	3年次30	640		1.02		平成23年度		
電気通信系学科	4	100		400		1.04		平成23年度		
情報系学科	4	60		240		1.01		平成23年度		
化学生命系学科	4	140		560		1.03		平成23年度		

環境理工学部				学士(環境理工学)、学士(学術)	1.04				岡山市北区津島中三丁目1番1号	
環境数理学科	4	20	—	80	1.01	平成6年度				
環境デザイン工学科	4	50	—	200	1.06	平成6年度				
環境管理工学科	4	40	—	160	1.05	平成6年度				
環境物質工学科	4	40	—	160	1.06	平成6年度				
農学部				学士(農学)、学士(学術)	1.03				岡山市北区津島中一丁目1番1号	
総合農業科学科	4	120	—	480	1.03	昭和61年度				
大学全体	2,195	2年次10 3年次70		9,377	—	1.01	—	—	—	
教育学研究科				修士(教育学)	1.17				岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(修士課程)										
教育科学専攻	2	37	—	74	1.17	平成30年度				平成30年度より学生募集停止
学校教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
発達支援学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
教科教育学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
教育臨床心理学専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
(専門職学位課程)				教職修士(専門職)	0.78					
教職実践専攻	2	45	—	90	0.78	平成30年度				平成30年度より学生募集停止
教職実践専攻	2	—	—	—	—	平成20年度				
社会文化科学研究科				修士(文学)、修士(法学)、修士(経済学)、修士(経営学)、修士(公共政策学)、修士(文化科学)、修士(学術)	0.55				岡山市北区津島中三丁目1番1号	平成18年度より名称変更
(博士前期課程)										
国際社会専攻	2	14	—	28	0.46	平成30年度				平成30年度より学生募集停止
日本・アジア文化専攻	2	12	—	24	0.79	平成30年度				
人間社会文化専攻	2	30	—	60	0.55	平成30年度				
法政理論専攻	2	15	—	30	0.33	平成30年度				
経済理論・政策専攻	2	6	—	12	0.49	平成30年度				
組織経営専攻	2	11	—	22	0.77	平成18年度			平成30年度から定員減 14→11	
社会文化基礎学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度				
比較社会文化学専攻	2	—	—	—	—	平成16年度				
公共政策科学専攻	2	—	—	—	—	平成18年度				
(博士後期課程)				博士(文学)、博士(法学)、博士(経済学)、博士(経営学)、博士(文化科学)、博士(学術)	0.66					
社会文化学専攻	3	12	—	36	0.66	平成16年度				
自然科学研究科				修士(理学)、修士(工学)、修士(学術)	1.08				岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)										
数理解物理学専攻	2	38	—	76	0.82	平成11年度				平成30年度より学生募集停止
分子科学専攻	2	24	—	48	1.01	平成17年度				
生物科学専攻	2	22	—	44	0.95	平成17年度				
地球科学専攻	2	16	—	32	0.96	平成11年度				
機械システム工学専攻	2	98	—	196	1.20	平成11年度				
電子情報システム工学専攻	2	90	—	180	1.13	平成11年度				
応用化学専攻	2	50	—	100	1.11	平成27年度				
生命医用工学専攻	2	—	—	—	—	平成27年度				

(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(学術)	0.49						
数理物理学専攻	3	6	—	22	0.53	平成24年度				平成30年度から定員減 10→6	
地球生命物質科学専攻	3	11	—	39	0.41	平成24年度				平成30年度から定員減 17→11	
学際基礎科学専攻	3	10	—	20	0.45	平成30年度					
産業創成工学専攻	3	18	—	57	0.53	平成17年度				平成30年度から定員減 21→18	
応用化学専攻	3	5	—	17	0.60	平成27年度				平成30年度から定員減 7→5	
化学生命工学専攻	3	—	—	—	—	平成24年度				平成27年度より学生募集停止	
生命医用工学専攻	3	—	—	—	—	平成27年度				平成30年度より学生募集停止	
(博士課程) 5年一貫制				博士(理学), 博士(学術)	0.65						
地球惑星物質科学専攻	5	4	—	20	0.65	平成21年度					
保健学研究科										岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(博士前期課程)				修士(看護学), 修士(保健学)	1.03						
保健学専攻	2	26	—	52	1.03	平成15年度					
(博士後期課程)				博士(看護学), 博士(保健学)	0.96						
保健学専攻	3	10	—	30	0.96	平成17年度					
環境生命科学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(理学), 修士(工学), 修士(環境学), 修士(農学), 修士(学術)	0.85						
社会基盤環境学専攻	2	30	—	60	0.66	平成24年度					
生命環境学専攻	2	23	—	46	0.93	平成24年度					
資源循環学専攻	2	43	—	86	0.84	平成24年度					
生物資源科学専攻	2	25	—	50	0.88	平成24年度					
生物生産科学専攻	2	38	—	76	0.94	平成24年度					
(博士後期課程)				博士(理学), 博士(工学), 博士(環境学), 博士(農学), 博士(学術)	0.47						
環境科学専攻	3	22	—	66	0.46	平成24年度					
農生命科学専攻	3	20	—	60	0.50	平成24年度					
医歯薬学総合研究科										岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
(修士課程)				修士(医学), 修士(公衆衛生学), 修士(歯科学), 修士(学術)	1.20						
医歯科学専攻	2	20	—	40	1.20	平成17年度					
(博士前期課程)				修士(薬科学)	0.93						
薬科学専攻	2	37	—	74	0.93	平成22年度				平成30年度から定員減 40→37	
(博士後期課程)				博士(薬科学), 博士(薬学), 博士(学術)	0.18						
薬科学専攻	3	9	—	28	0.18	平成24年度				平成30年度から定員減 10→9	
(博士課程)				博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学), 博士(学術)	1.01						
生体制御科学専攻	4	25	—	100	1.21	平成17年度					
病態制御科学専攻	4	62	—	248	0.99	平成17年度					
機能再生・再建科学専攻	4	28	—	112	0.86	平成17年度					
社会環境生命科学専攻	4	13	—	52	1.09	平成17年度					
ヘルスシステム統合科学研究科										岡山市北区津島中三丁目1番1号	
(博士前期課程)				修士(統合科学)	0.99						
ヘルスシステム統合科学専攻	2	80	—	160	0.99	平成30年度					
(博士後期課程)				博士(統合科学)	0.37						

ヘルスシステム統合科学専攻	3	16	—	32		0.37		平成30年度	
法務研究科 (専門職学位課程)					法務博士(専門職)	0.66			岡山市北区津島中三丁目1番1号
法務専攻	3	24	—	72		0.66		平成16年度	平成29年度から定員減 30→24
大学院全体		1,125	—	2,671	—	0.77	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	教授	世良 貴史 <平成30年4月>	世良 貴史 <平成30年4月>	世良 貴史 <平成30年4月>	世良 貴史 <平成30年4月>
	生体機能制御学 (研究指導)		生体機能制御学 (研究指導)		生体機能制御学 (研究指導)
専	教授	井出 徹 <平成30年4月>	井出 徹 <平成30年4月>	井出 徹 <平成30年4月>	井出 徹 <平成30年4月>
	1分子生理学 (研究指導)		1分子生理学 (研究指導)		1分子生理学 (研究指導)
専	教授	徳光 浩 <平成30年4月>	徳光 浩 <平成30年4月>	徳光 浩 <平成30年4月>	徳光 浩 <平成30年4月>
	ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ シグナル伝達創薬 (研究指導)		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ シグナル伝達創薬 (研究指導)		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ シグナル伝達創薬 (研究指導)
専	教授	早川 聡 <平成30年4月>	早川 聡 <平成30年4月>	早川 聡 <平成30年4月>	早川 聡 <平成30年4月>
	生体素材開発学 (研究指導)		生体素材開発学 (研究指導)		生体素材開発学 (研究指導)
専	教授	大槻 高史 <平成30年4月>	大槻 高史 <平成30年4月>	大槻 高史 <平成30年4月>	大槻 高史 <平成30年4月>
	化学生物学 (研究指導)		化学生物学 (研究指導)		化学生物学 (研究指導)
専	教授	妹尾 昌治 <平成30年4月>	妹尾 昌治 <平成30年4月>	妹尾 昌治 <平成30年4月>	妹尾 昌治 <平成30年4月>
	ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ 生体ナノ分子工学 (研究指導)		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ 生体ナノ分子工学 (研究指導)		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ 生体ナノ分子工学 (研究指導)
専	教授	阿部 匡伸 <平成30年4月>	阿部 匡伸 <平成30年4月>	阿部 匡伸 <平成30年4月>	阿部 匡伸 <平成30年4月>
	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ ヒューマンインタフェース特論 (研究指導)		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ ヒューマンインタフェース特論 (研究指導)		ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ ヒューマンインタフェース特論 (研究指導)
専	教授	横平 徳美 <平成30年4月>	横平 徳美 <平成30年4月>	横平 徳美 <平成30年4月>	横平 徳美 <平成30年4月>
	ネットワーク性能評価論 (研究指導)		ネットワーク性能評価論 (研究指導)		ネットワーク性能評価論 (研究指導)
専	教授	塚田 啓二 <平成30年4月>	塚田 啓二 <平成30年4月>	塚田 啓二 <平成30年4月>	塚田 啓二 <平成30年4月>
	センサデバイス工学 (研究指導)		センサデバイス工学 (研究指導)		センサデバイス工学 (研究指導)
専	教授	五福 明夫 <平成30年4月>	五福 明夫 <平成30年4月>	五福 明夫 <平成30年4月>	五福 明夫 <平成30年4月>
	ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ 人間支援インタフェース論 (研究指導)		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ 人間支援インタフェース論 (研究指導)		ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ 人間支援インタフェース論 (研究指導)
専	教授	呉 景龍 <平成30年4月>	呉 景龍 <平成30年4月>	呉 景龍 <平成30年4月>	呉 景龍 <平成30年4月>
	神経工学 (研究指導)		神経工学 (研究指導)		神経工学 (研究指導)

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松岡 順治 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ インタープロフェッショナルワーク論 先端医療疾病管理特論 ヘルスシステム統合科学応用学特論 (研究指導)
専	教授	永坂 岳司 <平成31年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ インタープロフェッショナルワーク論 先端医療疾病管理特論 ヘルスシステム統合科学応用学特論 (研究指導)
兼任	講師	永坂 岳司 <平成30年4月>	先端医療疾病管理特論 ヘルスシステム統合科学応用学特論
専	教授	岡 久雄 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ 生体機能情報学特論 (研究指導)
専	教授	森田 瑞樹 <平成31年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ 生体機能情報学特論 (研究指導)
専	教授	兵藤 好美 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 英語基礎看護学特論 (研究指導)
専	教授	狩野 光伸 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 医療技術臨床応用学 【隔年】 (研究指導)
専	教授	出村 和彦 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 人間共生哲学思想特論 (研究指導)
専	教授	本村 昌文 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 東アジア老年思想史特論 (研究指導)
専	教授	山下 登 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ 医薬品医療機器等法特論 研究倫理と法特論 ※ 医療機器関連法特論 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松岡 順治 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ インタープロフェッショナルワーク論 先端医療疾病管理特論 ヘルスシステム統合科学応用学特論 (研究指導)
兼任	講師	永坂 岳司 <平成30年4月>	先端医療疾病管理特論 ヘルスシステム統合科学応用学特論
専	教授	岡 久雄 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ 生体機能情報学特論 (研究指導)
専	教授	兵藤 好美 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 英語基礎看護学特論 (研究指導)
専	教授	狩野 光伸 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 医療技術臨床応用学 【隔年】 (研究指導)
専	教授	出村 和彦 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 人間共生哲学思想特論 (研究指導)
専	教授	本村 昌文 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 東アジア老年思想史特論 (研究指導)
専	教授	山下 登 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ 医薬品医療機器等法特論 研究倫理と法特論 ※ 医療機器関連法特論 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授(特任)	松岡 順治 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ インタープロフェッショナルワーク論 先端医療疾病管理特論 ヘルスシステム統合科学応用学特論 (研究指導)
専	教授	森田 瑞樹 <平成31年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ 生体機能情報学特論 (研究指導)
専	教授	兵藤 好美 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 英語基礎看護学特論 (研究指導)
専	教授	狩野 光伸 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 医療技術臨床応用学 【隔年】 (研究指導)
専	教授	出村 和彦 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 人間共生哲学思想特論 (研究指導)
専	教授	本村 昌文 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 英語インターンシップ 東アジア老年思想史特論 (研究指導)
専	教授	山下 登 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学特論 ※ 医薬品医療機器等法特論 研究倫理と法特論 ※ 医療機器関連法特論 (研究指導)

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉葉 恭行 <平成30年4月> 科学技術開発論 (研究指導)
専	教授	藤井 大児 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 (研究指導)
専	准教授	飛松 孝正 <平成30年4月> 酵素機能解析学 (研究指導)
専	准教授	金山 直樹 <平成30年4月> 細胞機能開発学 (研究指導)
専	准教授	吉岡 朋彦 <平成30年4月> 生体材料表面科学 (研究指導)
専	准教授	二見 淳一郎 <平成30年4月> 蛋白質分子設計学 (研究指導)
専	准教授	村上 宏 <平成30年4月> 分子遺伝学 (研究指導)
専	准教授	佐藤 あやの <平成30年4月> オルガナラ機能情報設計学 (研究指導)
専	准教授	紀和 利彦 <平成30年4月> センサデバイス工学 計測システム応用学 (研究指導)
専	准教授	高橋 智 <平成30年4月> 生体信号計測学 (研究指導)
専	准教授	笈田 将皇 <平成30年4月> 生命健康情報理工学特論Ⅰ 生命健康情報理工学特論Ⅱ インターロフェショナルワークshop (研究指導)
専	准教授	松尾 俊彦 <平成30年4月> 機能修復医学 (研究指導)
専	准教授	上杉 健志 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 国際インターンシップ
専	講師	青尾 謙 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 国際インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉葉 恭行 <平成30年4月> 科学技術開発論 (研究指導)
専	教授	藤井 大児 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 (研究指導)
専	准教授	飛松 孝正 <平成30年4月> 酵素機能解析学 (研究指導)
専	准教授	金山 直樹 <平成30年4月> 細胞機能開発学 (研究指導)
専	准教授	吉岡 朋彦 <平成30年4月> 生体材料表面科学 (研究指導)
専	准教授	二見 淳一郎 <平成30年4月> 蛋白質分子設計学 (研究指導)
専	准教授	村上 宏 <平成30年4月> 分子遺伝学 (研究指導)
専	准教授	佐藤 あやの <平成30年4月> オルガナラ機能情報設計学 (研究指導)
専	准教授	紀和 利彦 <平成30年4月> センサデバイス工学 計測システム応用学 (研究指導)
専	准教授	高橋 智 <平成30年4月> 生体信号計測学 (研究指導)
専	准教授	笈田 将皇 <平成30年4月> 生命健康情報理工学特論Ⅰ 生命健康情報理工学特論Ⅱ インターロフェショナルワークshop (研究指導)
専	准教授	松尾 俊彦 <平成30年4月> 機能修復医学 (研究指導)
専	准教授	上杉 健志 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 国際インターンシップ
専	講師	青尾 謙 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 国際インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉葉 恭行 <平成30年4月> 科学技術開発論 (研究指導)
専	教授	藤井 大児 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学特論 ※ ヘルスシステム統合科学総合演習 (研究指導)
専	准教授	飛松 孝正 <平成30年4月> 酵素機能解析学 (研究指導)
専	准教授	金山 直樹 <平成30年4月> 細胞機能開発学 (研究指導)
専	准教授	吉岡 朋彦 <平成30年4月> 生体材料表面科学 (研究指導)
専	准教授	二見 淳一郎 <平成30年4月> 蛋白質分子設計学 (研究指導)
専	准教授	村上 宏 <平成30年4月> 分子遺伝学 (研究指導)
専	准教授	佐藤 あやの <平成30年4月> オルガナラ機能情報設計学 (研究指導)
専	准教授	紀和 利彦 <平成30年4月> センサデバイス工学 計測システム応用学 (研究指導)
専	准教授	高橋 智 <平成30年4月> 生体信号計測学 (研究指導)
専	准教授	笈田 将皇 <平成30年4月> 生命健康情報理工学特論Ⅰ 生命健康情報理工学特論Ⅱ インターロフェショナルワークshop (研究指導)
専	准教授	松尾 俊彦 <平成30年4月> 機能修復医学 (研究指導)
専	准教授	上杉 健志 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 国際インターンシップ
専	講師	青尾 謙 <平成30年4月> ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 国際インターンシップ

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	相田 敏明 <平成30年4月>	情報数理論 (研究指導)
専	講師	亀川 哲志 <平成30年4月>	機能ロボット設計論 (研究指導)
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ 研究倫理と法特論 ※ 臨床死生学特論 (研究指導)
専	助教	森 光一 <平成30年4月>	(研究指導)
専	助教	早川 徹 <平成30年4月>	(研究指導)
専	助教	曲 正樹 <平成30年4月>	(研究指導)
兼任	教授	津田 敏秀 <平成30年4月>	臨床研究学
兼任	教授	佐藤 吾郎 <平成30年4月>	地域社会ヒューマンケア論
兼任	教授	松本 卓也 <平成30年4月>	組織工学特論 ※ 医療システムデザイン特論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	相田 敏明 <平成30年4月>	情報数理論 (研究指導)
専	講師	亀川 哲志 <平成30年4月>	機能ロボット設計論 (研究指導)
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ 研究倫理と法特論 ※ 臨床死生学特論 (研究指導)
専	助教	森 光一 <平成30年4月>	(研究指導)
専	助教	早川 徹 <平成30年4月>	(研究指導)
専	助教	曲 正樹 <平成30年4月>	(研究指導)
兼任	教授	津田 敏秀 <平成30年4月>	臨床研究学
兼任	教授	佐藤 吾郎 <平成30年4月>	地域社会ヒューマンケア論
兼任	教授	松本 卓也 <平成30年4月>	組織工学特論 ※ 医療システムデザイン特論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	相田 敏明 <平成30年4月>	情報数理論 (研究指導)
専	講師	亀川 哲志 <平成30年4月>	機能ロボット設計論 (研究指導)
専	講師	日笠(鈴木) 晴香 <平成30年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ 実務インターンシップ 研究倫理と法特論 ※ 臨床死生学特論 (研究指導)
専	助教	森 光一 <平成30年4月>	(研究指導)
専	助教	早川 徹 <平成30年4月>	(研究指導)
専	助教	曲 正樹 <平成30年4月>	(研究指導)
専	助教	増田 満子 <平成31年4月>	分子遺伝学 (研究指導)
専	助教	岡田 宣宏 <平成31年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 生体ナノ分子工学 (研究指導)
専	助教	塚 健司 <平成31年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 センサデバイス工学 制御システム応用学 (研究指導)
専	助教	橋 家康 <平成31年4月>	制御工学 ヘルスシステム統合科学総合演習 (研究指導)
専	助教	樽谷 優弥 <平成31年4月>	ヘルスシステム統合科学総合演習 ネットワーク制御理論 (研究指導)
兼任	教授	津田 敏秀 <平成30年4月>	臨床研究学
兼任	教授	佐藤 吾郎 <平成30年4月>	地域社会ヒューマンケア論
兼任	教授	松本 卓也 <平成30年4月>	組織工学特論 ※ 医療システムデザイン特論 ※

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	黒田 昌宏 <平成30年4月>	兼任	教授	黒田 昌宏 <平成30年4月>	兼任	教授	黒田 昌宏 <平成30年4月>
		インタープロフェッショナルワーク論 生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ			インタープロフェッショナルワーク論 生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ			インタープロフェッショナルワーク論 生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ
兼任	教授	森本 美智子 <平成30年4月>	兼任	教授	森本 美智子 <平成30年4月>	兼任	教授	森本 美智子 <平成30年4月>
		インタープロフェッショナルワーク論			インタープロフェッショナルワーク論			インタープロフェッショナルワーク論
兼任	教授	中村 隆夫 <平成30年4月>	兼任	教授	中村 隆夫 <平成30年4月>	兼任	教授	中村 隆夫 <平成30年4月>
		インタープロフェッショナルワーク論			インタープロフェッショナルワーク論			インタープロフェッショナルワーク論
兼任	教授	竹田 芳弘 <平成30年4月>	兼任	教授	竹田 芳弘 <平成30年4月>	兼任	教授	竹田 芳弘 <平成30年4月>
		生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ			生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ			生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ
兼任	准教授	頼藤 貴志 <平成30年4月>	兼任	准教授	頼藤 貴志 <平成30年4月>	兼任	准教授	頼藤 貴志 <平成30年4月>
		臨床研究学			臨床研究学			臨床研究学
兼任	准教授	岡田 正弘 <平成30年4月>	兼任	准教授	岡田 正弘 <平成30年4月>	兼任	准教授	岡田 正弘 <平成30年4月>
		情報工学特講 ※ 医療システムデザイン特講 ※			情報工学特講 ※ 医療システムデザイン特講 ※			情報工学特講 ※ 医療システムデザイン特講 ※
兼任	准教授	柴倉 美砂子 <平成30年4月>	兼任	准教授	柴倉 美砂子 <平成30年4月>	兼任	准教授	柴倉 美砂子 <平成30年4月>
		インタープロフェッショナルワーク論			インタープロフェッショナルワーク論			インタープロフェッショナルワーク論
兼任	准教授	沖中 由美 <平成30年4月>	兼任	准教授	沖中 由美 <平成30年4月>	兼任	准教授	沖中 由美 <平成30年4月>
		インタープロフェッショナルワーク論			インタープロフェッショナルワーク論			インタープロフェッショナルワーク論
兼任	准教授	造谷 光一 <平成30年4月>	兼任	准教授	造谷 光一 <平成30年4月>	兼任	准教授	造谷 光一 <平成30年4月>
		生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ			生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ			生命健康情報理工学特講Ⅰ 生命健康情報理工学特講Ⅱ
兼任	准教授	KHARE PRAJAKTA AMIT <平成30年4月>	兼任	准教授	KHARE PRAJAKTA AMIT <平成30年4月>	兼任	准教授	KHARE PRAJAKTA AMIT <平成30年4月>
		ヘルスシステム統合科学特講 ※			ヘルスシステム統合科学特講 ※			ヘルスシステム統合科学特講 ※
兼任	講師	西崎 正彦 <平成30年4月>	兼任	講師	西崎 正彦 <平成30年4月>	兼任	講師	西崎 正彦 <平成30年4月>
		先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特講			先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特講			先端医療疾病管理特講 ヘルスシステム統合科学応用学特講
兼任	講師	林 行成 <平成30年4月>	兼任	講師	林 行成 <平成30年4月>	兼任	講師	林 行成 <平成30年4月>
		医療ビジネスマネジメント論			医療ビジネスマネジメント論			医療ビジネスマネジメント論
兼任	講師	赤堀 勝彦 <平成30年4月>	兼任	講師	赤堀 勝彦 <平成30年4月>	兼任	講師	赤堀 勝彦 <平成30年4月>
		医療リスクマネジメント論			医療リスクマネジメント論			医療リスクマネジメント論
兼任	講師	末次 寧 <平成30年4月>	兼任	講師	末次 寧 <平成30年4月>	兼任	講師	末次 寧 <平成30年4月>
		複合機能設計学			複合機能設計学			複合機能設計学
兼任	講師	山本 玲子 <平成30年4月>	兼任	講師	山本 玲子 <平成30年4月>	兼任	講師	山本 玲子 <平成30年4月>
		細胞制御材料学			細胞制御材料学			細胞制御材料学
兼任	講師	菊池 正紀 <平成30年4月>	兼任	講師	菊池 正紀 <平成30年4月>	兼任	講師	菊池 正紀 <平成30年4月>
		組織再生材料学			組織再生材料学			組織再生材料学

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

・平成31年4月専任教員として就任予定であった永坂教授が就任を辞退した。後任補充人事を検討する。

【令和元年度】

・平成31年3月末定年退職した松岡教授の後任として、平成31年4月より専任教員として就任予定であった永坂教授が就任を辞退したことに伴い、松岡教授を平成31年4月からも専任教員として採用し授業を担当させることとした。
・増田助教、岡田助教、堺助教、楊助教の4名について平成31年4月より専任教員として就任。平成30年11月教員審査済。
・梅谷助教について平成31年4月より専任教員として就任。平成31年1月教員審査済。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）**を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
6	4	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
19	11	4	3	37	20	11	4	8	43
(20)	(11)	(4)	(3)	(38)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
34	1	2			37	4	2		
(35)	(1)	(2)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
20	11	4	8	43	19	11	4	8	42
[1]	[0]	[0]	[5]	[6]	[0]	[0]	[0]	[5]	[5]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
37	4	2			36	4	2		
[3]	[3]	[0]			[2]	[3]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{43}{37} = \boxed{116.21} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	永坂 岳司	H31.4	必修	ヘルスシステム統合科学特論 ※	①	H30.4.2他大学へ転出し、本学への就任する意思が無いことが確認されたため就任辞退（30）			
				選択	インタープロフェッショナルワーク論	①				
				選択	先端医療疾病管理特講	①				
				選択	ヘルスシステム統合科学応用学特講	①				
				必修	（研究指導）	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし。								
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{37} = 2.7\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	岡 久雄	必修	ヘルスシステム統合科学特論 ※	①	H31.3.31付け65歳で定年退職 (元)			
			選択	生体機能情報学特講	①				
			(研究指導)		①				
2	教授	松岡 順治	必修	ヘルスシステム統合科学特論 ※	①	H31.3.31付け65歳で定年退職 (元)			
			選択	インタープロフェッショナルワークshop	①				
			選択	先端医療疾病管理特講	①				
			選択	ヘルスシステム統合科学応用学特講	①				
			(研究指導)		①				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

永坂教授は平成31年4月に専任教員として就任予定であったが、平成30年4月2日付け本人から就任辞退届けが提出された。これを受けて、永坂教授が担当する予定であった授業を担当できる教員人事を検討した結果、永坂教授の前任にあたる松岡教授 (平成31年3月末定年退職) を、平成31年4月から専任教員 (教授) として雇用することにより、当該授業科目を提供することとした。

また、岡教授が平成31年3月末をもって定年退職となったが、当初の計画のとおり森田教授を平成31年4月から就任させ、岡教授の担当していた授業科目をそのまま担当することとした。

いずれも、学生便覧やシラバス等をもって学生へ周知を行った。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<ヘルスシステム統合科学研究科 ヘルスシステム統合科学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 12単位 必修科目5単位、選択科目7単位 ② 施設・設備 a 講義室163室（16,812㎡） 研究科単位で特定不明なため、大学全体の数 b 自習室9室（461㎡） c 図書2,049,625冊 研究科単位で特定不明なため、大学全体の数	学生の修学環境を改善するため、ヘルスシステム統合科学研究科所属学生専用の自習室を1部屋（35㎡）、講義室を1部屋（53㎡）追加した。 なお、図書については購入・廃棄のため大学全体の数として2,033,948冊となった。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 研究科学務委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 学務委員会としてH30年度中に11回開催した（委員長の他、4名：研究分野毎選出の委員）。 c 委員会の審議事項等 ・研究科の教務及びFDに関する事項、入試制度方法に関する事項 ② 実施状況 a 実施内容 ヘルスシステム統合科学研究科FD研修会 b 実施方法 講演方式（一部ワークショップ形式） c 開催状況（教員の参加状況含む） H31.3.15（34名）開催 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学修意欲を高める授業の工夫、特に、統合科目の講義進行における留意点や問題の共有を図り、翌年度の講義に対するフィードバックを図った。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 全学的に実施、年4回実施予定。 （ただし、履修者が少数の科目では実施されないため、現在は実施している科目が無い） b 教員や学生への公開状況、方法等 集計結果を学内限定のHP内で公開予定。
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
該当なし。
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
該当なし。
- c 委員会の審議事項等
該当なし。
- d その他
該当なし。

② 審議状況

- a 審議した内容
該当なし。
- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況
該当なし。
- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況
該当なし。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨・目的については、当初設定したとおりに実現しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け取り組むこととしている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・自己点検・評価の結果の公表は、完成年度を迎える令和3年3月以降を予定している。
- b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定。
- ③ 認証評価を受ける計画
・令和3年度に大学改革支援・学位授与機構の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和元年度）
- a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年8月31日 ）
- c 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。